

2021年12月期 決算説明資料



セントラルフォレストグループ株式会社

証券コード：7675



■ 2021年12月期トピックス

■ 2021年12月期実績

■ 2022年12月期計画

2021年4月 トーカンにて三給の全株式を 取得・グループ会社化

【目的】

- ・ C F G 長期戦略にて重要な戦略領域として捉えている給食市場への参入、及び中食・惣菜向けの売上拡大を目指す

【会社概要】

会社名	三給株式会社	株式会社ヒカリ
事業内容	給食向け食品卸売業	スーパー惣菜向け食品卸売業
本社所在地	愛知県岡崎市	名古屋市熱田区
代表者	代表取締役会長 神谷 亨 取締役社長 林 元造	代表取締役会長 神谷 亨 代表取締役社長 鈴木 義之
年間売上高	50億円	23億円

【給食、中食・惣菜向けの更なる拡大に向けて】

- ・ トーカン、三給、ヒカリ合同 P J「フォレストプロジェクト」発足
⇒ 全体最適を実現し、総合力を発揮する

CFG業務用戦略の給食、中食・惣菜向け活動のスピードUPへ繋げる



2021年7月 国分中部にて国分フードクリエイト 中部エリアの低温事業を譲り受け

【目的】

- ・国分中部、CFGにおける常温・チルド・冷凍一体の体制を整え、三温度帯フルライン機能を強化し、お取引先のサービスレベルを向上する

【事業規模】

- ・年間売上高 約92億円
(チルド67億円、アイス12億円、冷食8億円、その他5億円)

「常温と低温の融合」によるカテゴリーを超えた総合提案を行い、CFGの低温事業拡大と新たな価値創造に取り組む

2021年12月期実績



セントラルフォレストグループ株式会社

2021年12月期実績



(単位:百万円)

	2020年12月期 通期実績	2021年12月期 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	284,793	298,237	+13,443	+4.7%
営業利益	848	1,153	+305	+35.9%
経常利益	1,139	1,451	+312	+27.4%
当期純利益	649	1,052	+402	+61.9%

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を表示

2021年12月期実績 (単位:百万円)



チャネル別売上高

	2020年12月期 通期実績	2021年12月期 通期実績	構成比	対前年 増減率
スーパーマーケット	117,668	124,859	41.9%	+6.1%
外食・中食・給食	44,840	48,423	16.2%	+8.0%
ドラッグストア	39,671	41,414	13.9%	+4.4%
コンビニエンスストア	38,815	40,599	13.6%	+4.6%
卸売業	35,628	33,886	11.4%	△4.9%
その他	8,169	9,053	3.0%	+10.8%
合計	284,793	298,237	100.0%	+4.7%

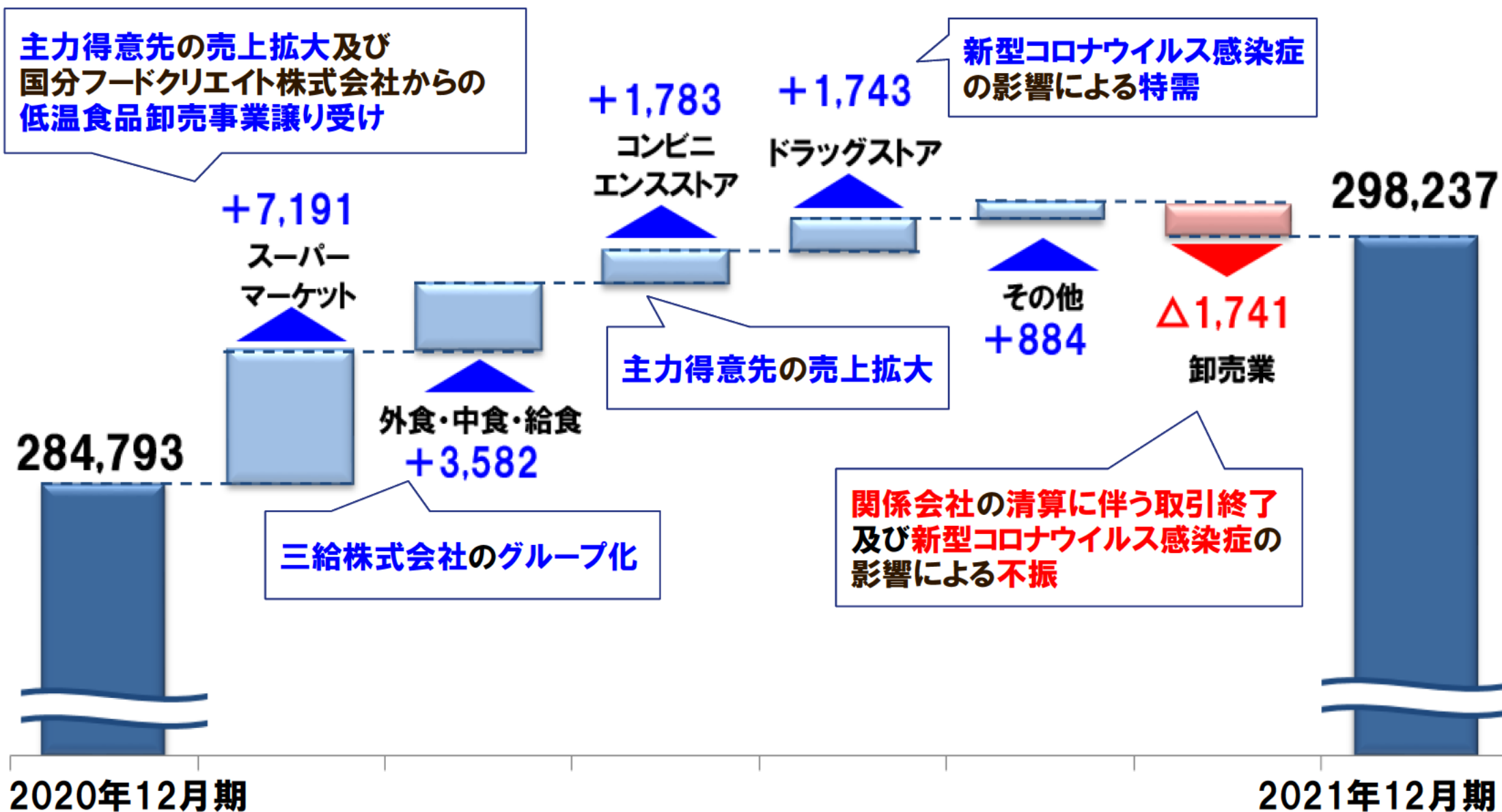
カテゴリー別売上高

	2020年12月期 通期実績	2021年12月期 通期実績	構成比	対前年 増減率
製 品	4,170	4,470	1.5%	+7.2%
加工食品	141,498	142,283	47.7%	+0.6%
酒 類	70,703	74,244	24.9%	+5.0%
チルド冷凍	49,318	57,768	19.4%	+17.1%
非 食 品	6,673	6,952	2.3%	+4.2%
その他	12,429	12,517	4.2%	+0.7%
合計	284,793	298,237	100.0%	+4.7%

2021年12月期売上高の増減要因



(単位:百万円)



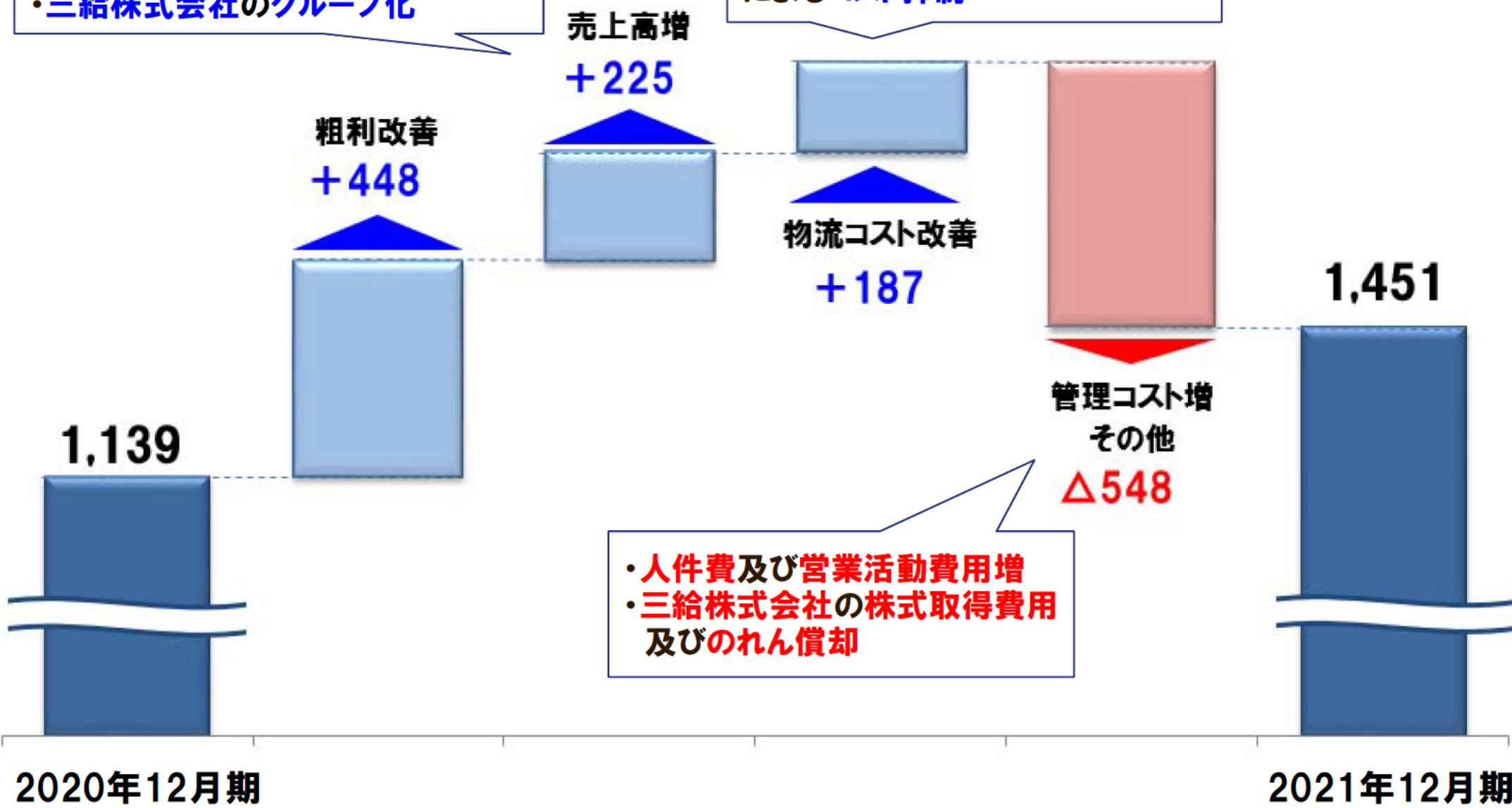
2021年12月期経常利益の増減要因



(単位:百万円)

- ・主力得意先の売上拡大
- ・国分フードクリエイト株式会社からの低温食品卸売事業譲り受け
- ・三給株式会社のグループ化

配送効率化及び庫内業務改善によるコスト抑制



2021年12月期特別損益及び当期純利益



(単位:百万円)		2020年12月期 通期実績	2021年12月期 通期実績	増減額
	経常利益	1,139	1,451	+312
①	固定資産売却益	13	100	+86
	投資有価証券売却益	75	73	△1
	資産除去債務戻入益	—	13	+13
②	関係会社清算益	—	141	+141
	【特別利益】合計	89	328	+239
	減損損失	241	159	△81
	その他の特別損失	—	25	+25
	【特別損失】合計	241	184	△56
	税引前当期純利益	987	1,595	+608
	法人税等	337	543	+206
	当期純利益	649	1,052	+402

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を表示

① 固定資産売却益

保有する賃貸不動産の売却益を計上

② 関係会社清算益

関係会社の清算に伴う清算配当金を計上

2022年12月期計画



セントラルフォレストグループ株式会社

2022年12月期連結業績予想



(単位:百万円)

	2021年12月期 通期実績	2022年12月期 通期予想	対前年 増減額	対前年 増減率
売 上 高	298, 237	306, 000	+7, 762	+2. 6%
営 業 利 益	1, 153	1, 370	+216	+18. 8%
経 常 利 益	1, 451	1, 650	+198	+13. 7%
当期純利益	1, 052	1, 070	+17	+1. 7%

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を表示

※2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております
売上高への影響額は約△11億円(△0. 4%)です

2022年12月期チャネル別売上高予想



(単位:百万円)

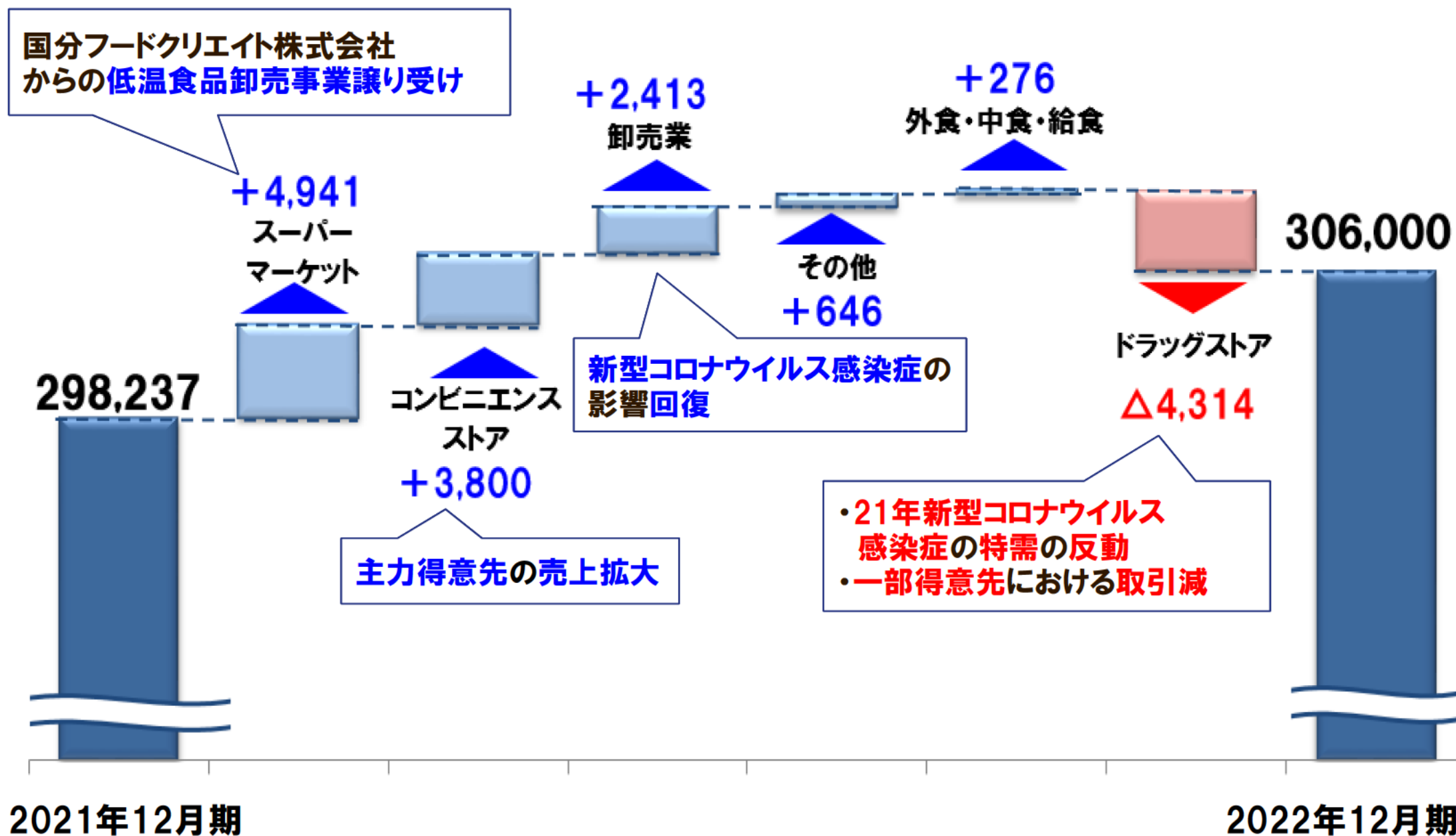
	2021年12月期 通期実績	2022年12月期 通期予想	構成比	対前年 増減率
スーパーマーケット	124,859	129,800	42.4%	+4.0%
外食・中食・給食	48,423	48,700	15.9%	+0.6%
コンビニエンスストア	40,599	44,400	14.5%	+9.4%
ドラッグストア	41,414	37,100	12.1%	△10.4%
卸売業	33,886	36,300	11.9%	+7.1%
その他	9,053	9,700	3.2%	+7.1%
合 計	298,237	306,000	100.0%	+2.6%

※2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております
売上高への影響額は約△11億円(△0.4%)です

2022年12月期売上高の増減要因



(単位:百万円)



2022年12月期経常利益の増減要因



(単位:百万円)

主力得意先の売上拡大
及び新型コロナウイルス感染症の
影響回復による売上高増

+226
売上高増

+177
物流コスト改善

基幹システム切替に伴う費用増加

△204
管理コスト増
その他

配送効率化及び庫内業務改善
によるコスト抑制

1,451

1,650

2021年12月期

2022年12月期

設備投資(2021年12月期実績・2022年12月期計画)



(単位:百万円)

	2021年12月期 実績	2022年12月期 計画
設備投資額	616	467

※設備投資額は有形固定資産のほか、無形固定資産への投資も含めて記載しております。

主な設備投資

[2021年12月期 実績]

- ・新システムの2022年2月稼働に向けた情報関連投資 327百万円
 - ・システム開発、ソフトウェアライセンス他 256百万円
 - ・複合機・パソコン入替 71百万円
- ・製造工場の設備維持・更新及び生産性向上 106百万円

[2022年12月期 計画]

- ・物流関連 182百万円
 - 物流センターの設備維持・更新及びシステム投資
- ・製造関連 158百万円
 - 工場の安全製造及び機能向上に向けた投資

配当(2021年12月期配当・2022年12月期配当予想)



2021年12月期
配当

2022年12月期
配当(予想)

中間配当金

1株当たり15円

1株当たり17円

期末配当金

1株当たり15円

1株当たり17円

年間配当金

1株当たり30円

1株当たり34円

配当性向

25.0%

27.9%

1株当たり
当期純利益

119.80円

121.84円

株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけており、
2022年12月期の年間配当金は、前期に比べ1株当たり4円増配を予定しております。

2021年12月期 決算説明資料



セントラルフォレストグループ株式会社

証券コード：7675